

平成27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業検証シート

- ・ 基礎交付分 : 12事業（戦略策定事業は除く）
- ・ 上乗せ交付分（タイプⅠ） : 1事業
- ・ 上乗せ交付分（タイプⅡ） : 1事業

		インプット（投入） ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞	アウトプット（結果） ＜インプット（投入）により、具体的に現れた形で示すこと＞	アウトカム（成果） ＜KPI（重要業績評価指標）に対する実績＞	成果と課題 ＜主な成果：○ 課題：◆＞
1	直七産地化推進事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：産業振興課	栽培説明会の開催（1回） 植付場所の現地確認（随時）	説明会への参加者数 38名	KPI（H27） ・直七の苗木植栽本数 目標：3,000本 実績：2,310本	○説明会参加者のうち、27名が生産者として直七栽培を開始した。 ◆希望者に対して、直七苗木の数が不足したため、苗木の確保数を増やす必要がある。
2	森林資源活用人材育成事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：産業振興課	森林塾の開催（年間5回） 林業用機器資材の購入補助 移住相談会（高知暮らしフェア）へ参加	森林塾への参加者数 20名 林業用機器資材の購入者 11名	KPI（H27） ・UIターンお試し雇用 目標：5人 実績：0人 ・個人によるバイオ材出材量 目標：500 t 実績：845 t	○森林塾参加者のうち、新たに2名の方が林業従事者として就労を開始した。 ◆UIターン者に対しては、日本全国で同様の取り組みが実施されていることから、他市町村と比較して特色のある制度設計を検討する必要がある。
3	特産品等販売促進事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：商工観光課、産業振興課	商談会等への参加のための旅費等を補助金として助成 補助金額 補助対照経費の2分の1以内かつ1団体につき上限200,000円	商談会等への参加 7回 補助金額 482,000円 利用団体数 6団体	KPI（H27） ・新規販路開拓 目標：12件 実績：22件	○利用した団体は新年度も利用を希望しており、活用しやすい制度となっている。商談会への参加によって新規契約につながっている。 ◆未利用事業者への広報拡充
4	宿毛市産業祭実行委員会補助金 ＜基礎交付分＞ 担当課：産業振興課	運営補助金の交付 4,425,401円	来場者数 16,000人 出店者数 107店舗	KPI（H27） ・来場者数 目標：17,000人 実績：16,000人 ・出店者の新規取引数 目標：10件/年 実績：1件/年	○市外業者も含め、100店舗を超える出店があり、商品PRに繋がった。 ◆出展者の多くは、商談等を通じての販路拡大には至っておらず、バイヤー誘致と商談の機会を増やす必要がある。

		インプット（投入） ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞	アウトプット（結果） ＜インプット（投入）により、具体的に現れた形で示すこと＞	アウトカム（成果） ＜KPI（重要業績評価指標）に対する実績＞	成果と課題 ＜主な成果：○ 課題：◆＞
5	あったかられあいセンター事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：福祉事務所	認知症患者とその家族のためのオレンジカフェを開催する。 あらゆる世代の集いの場として拠点だけでなく地域への出張型（サテライト）の充実を図る	平成27年度延べ利用者の実績4,019人（内訳：すくも2,152人 おきのしま1,867人） 両事業所開催回数：週5回 開所時間8：30～17：15 オレンジカフェ開催日・時間：平成28年度からは毎月第3火曜日の14：00～16：00 各地区に訪問し地区でのサテライト開始に向け活動する。	KPI（H27） ・（訪問活動の成果）新規利用者数 目標：20人 実績：62人	◆高齢者・認知症以外の方のあらゆる世代の参加者増進 ○オレンジカフェの定着化
6	移住・定住促進事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：企画課	・移住相談員 1名配備 ・お試し住宅の整備 1室 ・Uターン空き家改修補助2件 ・高知暮らしフェア（5/17、6/6、12/13） ・アイランダー（11/21・22）	・移住相談件数 110件 ・お試し住宅利用者2名が移住した。	KPI（H27） ・移住について具体的な相談に入っている者数 目標：20名 実績：35名（移住者実績）	○移住相談員に配置したことで、移住希望者にきめ細やかな対応が出来るようになり、H26実績より6名から大幅に移住者が増加した。 ◆空き家バンクの充実、お試し移住の推進、求人情報の提供
7	産業集積地域立地企業拠点強化事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：企画課	誘致のための企業訪問：12社訪問 商談イベントへの参加：1回 ■定期的に立地企業を訪問し、企業の状況把握や相談を受ける中で、各種優遇施策等の情報提供を行った。 固定資産税の課税免除企業数：5社	宿毛市が行なっている固定資産税免除の制度や、高知県が行なっている優遇施策等の情報提供や各種相談を受ける中で、立地企業の投資活動の支援を行い、5社の新たな投資が行われた。	KPI（H27） ・対象地域である両工業団地立地企業における新規投資計画の策定数 目標：2企業 実績：5企業	○立地企業を定期的に訪問することで、各企業の状況が把握できるとともに、各種相談を受ける中で、各種優遇施策等の情報提供を行い、本地域における雇用の場の確保のため各企業の投資活動の支援を行った。 ◆新たな企業の誘致に関しては、高知県とともに業績が好調な企業や、高知県と縁のある役員がいる企業に絞って誘致活動を行ってきたが、本年度の誘致には至っていない。 今後もより誘致につながりやすい企業の選定など、地道に企業誘致活動を行って行く。

		インプット（投入） ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞	アウトプット（結果） ＜インプット（投入）により、具体的に現れた形で示すこと＞	アウトカム（成果） ＜KPI（重要業績評価指標）に対する実績＞	成果と課題 ＜主な成果：○ 課題：◆＞
8	クルーズ船舶等誘致促進事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：企画課	<p>日本船社訪問：3社(6回) 外国船社訪問：6社(6回) 外国客船誘致商談会：1回 ■シルバーシークルーズ商談会に参加し、直接商談を行った。</p> <p>※高知県が行う船社向けモニターツアー時に、寄港誘致を行った。（対象地域：幡多及び高岡郡）</p>	「ばしふいっくびいなす」の平成28年9月25日の入港が決定	<p>KPI（H27）</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄港地検討企業数（新規） 目標：2社 実績：8社 大型船舶寄港数 目標：2隻 実績：1隻 	<p>○船社へのトップセールスなどで積極的な誘致も行い平成28年の宿毛への寄港が決定した。</p> <p>◆日本船の寄港できる港が年々増えてきており、毎年の寄港誘致が難しくなっている。 また、新たな、OPツアーの開拓等が必要となっている。 ◆外国客船誘致については、2～3年ほど前から寄港する港を決定しているため、3年ほど先の寄港を目指しての活動を実施。</p>
9	沖の島・鵜来島地域資源活用観光振興事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：企画課	<ul style="list-style-type: none"> ●沖の島観光協会が実施するイベントに対する補助及び開催支援（2回） ●沖の島開発促進協議会への補助（1回） ●アイランダーへ出展（1回） ●「沖の島・鵜来島しま探訪」パンフレット作成（2000部） ●封筒作成（10000部） 	<p>イベント参加者：48人 ○海辺のワイルドレストラン（夏）7月：台風のため中止 ○アドベンチャーラン（カヌー&スイム）8月：台風のため中止 ○海辺のワイルドレストラン（秋）9月：参加者13名 ○グルメフォンド幡多10月：参加者35名</p> <p>また、パンフレット・封筒の作成、都市圏でのイベント（アイランダー）出展において、沖の島・鵜来島をPR（ブース来訪者約100名）</p>	<p>KPI（H27）</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント参加者数 目標：100人 実績：48人 	<p>○アイランダーへの出展やパンフレットの作成、イベントの実施により、沖の島・鵜来島の認知度向上を図ることができた。</p> <p>◆島のイベントは、天候の影響を受けやすく、4回の計画のうち2回が中止となった。受け入れ容量が限定されるため、1回のイベントで、定員を超えて参加者を確保することも難しく、KPI目標には至らなかった。継続したイベント開催やPR等の実施により、リピート客の確保が必要</p>

		インプット（投入） ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞	アウトプット（結果） ＜インプット（投入）により、具体的に現れた形で示すこと＞	アウトカム（成果） ＜KPI（重要業績評価指標）に対する実績＞	成果と課題 ＜主な成果：○ 課題：◆＞
10	スポーツ合宿等推進事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：生涯学習課	東京へ合宿誘致活動→大学訪問（6月） 大阪へ合宿誘致活動→エージェント訪問（9・2月）	延べ宿泊数 東北学院大学野球部 1,260泊 京都成章高校野球部 260泊 高知大学サッカーフェスティバル 373泊 新規1団体(高知大OB指導者の高校) 継続2団体(東北学院大、京都成章高)	KPI（H27） ・新規誘致数 目標：7団体 実績：3団体	○スポーツ合宿の誘致に伴い、宿泊助成を行うことで、交流人口の拡大と地域の活性化に繋がった。 ◆宿泊助成要件を見直すなど、さらなるスポーツ合宿の推進を図る。
11	宿毛マラソン実行委員会補助金＜基礎交付分＞ 担当課：生涯学習課	第1回宿毛マラソン補助金額 2,511,000円 月刊ランナーズへの広告掲載 (27万部) イオンモール高知でのPR活動 テレビ高知「てれっちのたまご」出演によるPR活動 ポスター及びチラシの配布 全国350ヶ所 大会HPでの周知	宿毛市外参加者数 804人	KPI（H27） ・宿毛市外参加者数 目標：740人 実績：804人	○多くの皆様のご支援・ご協力により、マラソンを通じて、参加ランナーと沿道で応援された方々が感動を共有し、本市のスポーツ振興に寄与するとともに、地元特産品のPRを行うなど、宿毛市の魅力を広く発信し地域活性化にも繋がった。 ◆宿毛マラソンのさらなる認知度及び地域活性化の向上。
12	宿毛市観光振興事業 ＜基礎交付分＞ 担当課：商工観光課	観光PRの実施（市外3回） 釣り大会の実施（3回） スポーツ大会の実施（2回） ファミリーフィッシング・漁業体験受入（通年）	釣り大会では1,122名の参加があった。 スポーツ大会では595名の参加があった。 ファミリーフィッシング・漁業体験では47名に体験していただくことができた。	KPI（H27） ・新規に開発した観光メニュー 目標：2件 実績：1件	○市外で観光PRを実施することで、宿毛市について知っていただくことができた。 ◆今後も継続的に事業を実施し、観光入込客数の増加に取り組む。

		インプット（投入） ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞	アウトプット（結果） ＜インプット（投入）により、具体的に現れた形で示すこと＞	アウトカム（成果） ＜KPI（重要業績評価指標）に対する実績＞	成果と課題 ＜主な成果：○ 課題：◆＞
13	四万十・足摺エリア誘客促進連携事業 ＜上乘せ交付分（タイプⅠ）＞ 担当課：商工観光課	観光素材集の作成2,000部 誘客キャンペーンの実施 PR映像の作成 観光ガイドブック作成10万部 多言語ガイドブック等作成 英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語 体制強化事業の実施 デジタルサイネージの設置	誘客キャンペーンの実施では、協力宿泊施設93、協力物産事業者15となった。 旅行会社メディア関係者7社の招聘により、幡多地域の観光素材を周知できた。	KPI（H27） ・一般観光客数 目標：10,750人増 実績：△65,489人増 ・スポーツ客数 目標：1,200人増 実績：2,089人増 ・外国人延べ宿泊数 目標：8,700人増 実績：8,476人増 ・広域組織に求められる機能強化項目 目標：5項目 実績：5項目	○多様な観光関係者と連携した取り組みが実施できた。 ○必要な基礎調査を実施できたので、新たな戦略の策定やKPIの設定が可能になった。 ◆本事業の成果物や、新たにできた関係者との連携を更に強化し、幡多地域全体としての観光地づくりを推進していく必要がある。
14	レスリング競技を活用した交流人口拡大事業 ＜上乘せ交付分（タイプⅡ）＞ 担当課：生涯学習課	【大会】 全国18都府県、61チームに大会案内を送付。各種参加大会にて大会PR活動を実施。 大会に向けた打ち合わせ会を3回実施。 HP等での大会周知。 【合宿】 専修大学より日本トップレベルの選手を招へいし、県内、愛媛に合同練習の案内を送付。	【大会】 7県16チームより115名が参加 【合宿】 2県4チーム50名が参加 新聞社2社が取材に来て、大々的に取り上げてくれた。	KPI（H27） ・参加者数 目標：150人 実績：165人 ・宿泊者数 目標：180人 実績：105	○ゲスト2名（世界選手権3位等）を招へいしたことにより、レスリングの技術の向上、集客力アップにつながった。 ○大会終了後に直七やぶり等地元物産品が当たる抽選会を実施し、宿毛市の魅力を発信した。 ◆競技人口が限られているため、参加人数を増やす工夫が必要